

支店別地域農業振興方針

つがる白神支店管内

【振興作物】



アスパラガス・にんにく・ブロッコリー・シャインマスカット・すいか・メロン

【地域の現状と農業振興方針】

鱒ヶ沢管内の主力作物は「水稻・すいか・アスパラガス」であるが、農家の高齢化をはじめ、依然として後継者や農業従事者の不足、機械・施設更新などが儘ならないことから、限界を超えた大規模農家への農地集約、中小農業者の耕作面積縮小や離農が増加の一途をたどっています。

主力作物を核とし、将来性のある新たな作物や消費者に求められる物を模索して、豊かな地域農業を目指し、関係機関と連携して産地の維持・拡大に取り組んでまいります。

【担い手の育成・地域活性化方針】

町や関係機関と連携し、若手担い手や新規就農者が安心して農業経営に取り組み、継続できるよう情報発信や各種講習会などを催し、地域農業の発展に努めます。

【管内地域農業の未来像（10年後のあるべき姿）】

J Aの振興作物を中心にこの地域ならではの産地を形成・維持し、老若男女に魅力ある農業、そして儲かる農業の実現で、安心安定した生活を送れる姿を目指します。



● 深浦事業所管内 ●

【振興作物】



トマト・アスパラガス・ねぎ・にんにく・シャインマスカット

【地域の現状と農業振興方針】

水稲では、大規模農家へ農地が集約されつつあるが、大半が親子経営であり、親がけん引している状況であります。現在の農業情勢で、今後若い世代が農業を継承するかは不透明です。畑作では、高温障害や鳥獣害により「トマト・アスパラガス・ねぎ」の主力品目の収量、収入減で農家負担が大きく、再生産への意欲低下が懸念されます。

異常気象に対応できる新たな品目での複合経営も検討しながら、トマトをはじめ地域にあった作物を推進し、農家経営の維持に努めてまいります。

【担い手の育成・地域活性化方針】

巡回や指導を通じて若手生産者の農業意欲・知識向上を促してスキルアップできるように育成します。また、新規就農者の取り組みを後押しし、農業の経営基盤を構築して、指導員及びベテラン農家の連携で地域活性化を図ります。

【管内地域農業の未来像（10年後のあるべき姿）】

誰でも農業で高所得を維持できる生産性の確立を目指します。また、講習会や関係機関との連携により、生産技術の向上や生産意欲をもってもらえるよう指導員のレベルアップを図ります。そのほか、農業体験や食育を通じた地域づくり、農業経営のアピールを実施し、新規移住者など農業従事者の確保を目指します。



つがる支店管内

【振興作物】



ブロッコリー・トマト・ミニトマト・ねぎ・トウモロコシ・シャインマスカット・りんご・メロン

【地域の現状と農業振興方針】

特に水稲が主力の当管内は、農業者の高齢化、後継者不足などによる農業従事者の減少と、農業機械の更新が課題となっており、合わせて物価高騰によるコスト高、温暖化の影響による農作物の品質低下、収入減で農家経営はひっ迫しています。畑作についても同様で、豪雨や高温障害により減収や品質低下を余儀なくされています。

取扱品目は多岐にわたりますが、異常気象に打ち勝つ対応や水稲+αの複合経営を推進し、農家の経営安定を目指します。また、販売を起点とした農産物の生産拡大を図り、食の信頼確保と多様化する消費動向など念頭に、JAによる統一ブランドの確立や、つがる市ブランドの強化、新たな取り組みも模索し、特色ある地域性を活かした産地づくりを展開します。

【担い手の育成・地域活性化方針】

新規就農者への巡回や若手担い手向けの講習会等を開催しながらJAとの交流を深め、次世代の育成と支援に努めます。また、栽培技術のレベルアップや農業人口、地域への定着を高める取り組みを関係機関と連携し、地域農業の活性化につなげます。

【管内地域農業の未来像（10年後のあるべき姿）】

地域農業の中心となる大規模農家をはじめ、農地の集約化や効率化を進め、それぞれの経営プランに合わせた営農のあり方を提案し、主要品目の生産量維持に努めることで緑豊かな産地の継続を目指します。



富范事業所管内

【振興作物】



ながいも・にんにく・ごぼう・ねぎ

【地域の現状と農業振興方針】

水稲では、後継者がいないことから離農する農家が増えているものの、現状は農地の受け皿となる農家がいるため耕作放棄地は増えていません。しかしながら、受託面積の限界も迫っており、受け手農家への支援が課題です。畑作では、近年の自然災害による収穫量の落ち込みで、作付体系の変更など対応策の検討が課題となっています。

つがる市の特産品にJ A独自の付加価値を見出し、高品質で安全安心な農産物を届けることで産地としての信頼性を高めてまいります。

【担い手の育成・地域活性化方針】

農業研修や現場での経験を積み重ね、実践的な技術や知識を身につけてもらえるよう担い手を支援します。また、先進技術の導入や農業者の技術力向上支援のほか、肥料や農薬の適切な使用など、生産性を向上させる取り組みを推進し、地域農業の活性化につなげていきます。

【管内地域農業の未来像（10年後のあるべき姿）】

関係機関と連携し、地域の風土や特産品を活かした地域ブランドが創出され、魅力が高まることで農業を通じた地域振興が促進される姿を目指します。そのために地域農家との連携を密にし農家とJ Aが一丸となって地域農業の発展に取り組めます。



鶴翔支店管内

【振興作物】



りんご・ぶどう（シャインマスカット）・きゅうり

【地域の現状と農業振興方針】

農業従事者の高齢化、雇用作業員の労働力が不足し、農機・設備の更新が問題となっています。生産現場の労働力確保と省力化への対応、合わせてJA施設利用における農家の利便性向上が課題です。

温暖化の影響による農作物の病害虫、生産不良などの対処法や、高品質生産栽培指導により有利販売を推進し農家所得の向上を図ります。また、省力化を取り入れた栽培指導で経営面積の維持拡大を図り、JAが誇る産地の形成に努めてまいります。

【担い手の育成・地域活性化方針】

研修会、営農相談などを通じ、若手後継者とJAとの交流や、後継者相互の交流も図り担い手の育成に努めます。また、若手生産者が中心となる地域農業の活性化を推進します。

【管内地域農業の未来像（10年後のあるべき姿）】

生産における労働力の確保、省力化はもとよりJA施設についても農家の利便性が向上した体制が構築され、出向く営農指導の充実と有利販売による所得向上が期待できる、活気に満ち溢れた地域を目指します。



津軽北部支店管内

【振興作物】



トマト・ブロッコリー

【地域の現状と農業振興方針】

水稲を中心に複合経営を推進しているものの、農家の高齢化や後継者不足、機械・施設の老朽化などの問題が重なり、農業者の減少が起っています。

引き続き、水稲を中心に振興作物「トマト・ブロッコリー」の作付けを推進し、農業経営の安定化と所得増大を目指してまいります。

【担い手の育成・地域活性化方針】

関係機関と連携を図りながら、今後の地域農業を担う若手生産者の掘り起こしと、JAとの関係性を強化するための交流や情報交換など積極的取り組み、次世代リーダーの育成や地域の活性化に努めます。

【管内地域農業の未来像（10年後のあるべき姿）】

若手や担い手が儲かる農業の実現で、安定した産地を形成し、生産者誰もが満足する所得を得られる魅力ある地域農業の姿を目指します。

